

# 木もれ日

Komorebi Tsushin

## 第23号

平成18年2月  
つきだて花工房発  
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達市月館町下手渡字寺窪7

TEL024(573)3888 FAX024(573)3887

E-mail: hanakobo@safins.ne.jp

休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)

つきだて花工房ホームページ <http://odehime.or.jp/hanakobo/>

つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりとやさしさを持ち続ける皆様の公共施設をめざします。

## 花のアルバム

アルバムの  
23ページ

オータム  
ボエム

野山に生きる動物たち  
清瀬を泳ぐ魚たち  
風に揺れる野の花や  
空を飛ぶ鳥たちも  
みんな、みんな  
仲良く暮らす  
里山には今年も  
やさしい時間が流れています



（月館町・渡辺シツ子さんのハウスにて）  
オータムボエムの花

白菜、キヤベツ、レタス、蕪、野沢菜、  
：みんな同じ十字型の4枚の花びら  
を持ち、黄色の花を咲かせる野菜で  
す。そして今回登場のオータムボエム  
も、菜の花に似た優しい黄色い花を  
咲かせる新種の野菜。オータムとい  
う響きとは別に、ひと足早い春を感  
じさせてくれる愛らしい小花が目  
を引きます。

オータムボエム(秋の詩、というエレ  
ガントな名前)はアブラ菜科の一年草。  
中国野菜の「紅苔菜」と「菜心」の交  
配種で、ビタミンC、カロチン、無機質、  
食物繊維などが多く含まれた、栄  
養価の高い冬の貴重な青菜です。茹  
でてマヨネーズで食べると、グリーンア  
スパラに似た味がするので、別名アス  
バラ菜とも呼ばれています。



栽培風景  
つややかな葉がおいしそう

使いみちもさまざま。葉、茎、花と  
全て食べることができ、お浸しや漬  
物はもちろん、炒めもの、天ぷらなど  
にもよくあいます。花は飾りツマに  
も利用されるなど、花の咲く冬野菜  
として珍重されている人気者です。

### 春色黄色

春に咲く花の色でいちばん多いの  
が黄色。目を閉じて一面の菜の花畑  
や、風に揺れるタンポポの光景を思  
い起こせば、のどかなふるさとに、緩  
やかな時間が流れます。畦道には春

の七草(ごぎょう(母子草)、ほとけの  
ぎ、すずな(蕪)の三種は可憐な黄色  
い花を咲かせます。寒さに耐えた植  
物には生命の力強さを感じることで  
しょう。冬枯れにはロウバイの甘い香  
り：澄んだ青空に黄色い花がくつき  
りと浮かびます。日に日に光が柔ら  
かくなる頃、線香花火のような花を  
つけるサンシユやモクレン科のレンギ  
ョウが野や山に春の訪れを知らせて  
くれます。待ち遠しい春の彩り：  
♪春よ来い♪早く来い。

### 団欒(だんらん)

炬(火)を囲み、火を囲み、一日の無事  
に感謝をしながら家族が和む場所  
：団(火)裏。かつて団(火)裏は日本中で  
団欒の火でした。「炬を囲む所」とい  
う意味を持つ団(火)裏は、炊事、暖房、  
明かりなどの役目をすべて引き受け  
て活躍していたのです。

炬(火)には不思議な力がありま  
す。自然と人が集まり、いつの間にか  
気持ちが悪され、会話が弾んでいる  
のです。ことごとく沸いた鉄瓶のお  
湯で服すお茶もまた、ひと味違うこ  
とでしょう。人と人が、顔と顔を  
合わせて話すこと：忘れかけている  
大切なことを思い出させてくれる、  
団(火)裏にはそんな力が潜んでいるよ  
うです。



高野文夫さん宅の団(火)裏(月館町・間館)

# 慶びの時間

## 若人よ！ 胸を張って 生きてゆこう！

成人、おめでとうございます！  
成人式が行われた後、  
つきだて花工房に集い  
初めてのお酒!?を経験  
今日から大人の仲間入り  
ですね。(平成12年度  
月館中学校卒業生)



新しい年が明けました  
慶びの時を迎え  
集う人々に、笑顔があふれます。  
つきだて花工房は、今年も、  
みなさまの心のふるさとで  
あり続けたいと願っています。

### 今年もたくさん笑顔が生まれますように・・・



▲登山教室をきっかけに平成10年に結成、  
毎月登山を楽しんでおられる10山会の皆さま。  
福島市から月館に引っ越してこられた  
竹野さんが、羽山登山後にみなさんをお連れ  
くださいました。

雪の多い冬となりました。  
都会から来てくれたお  
子様たちは、思いがけない  
雪に大喜び。花工房  
スタッフは天気予報が  
気になる毎日です。



▲高橋様ご家族。今年、第1号のお客様  
でした。門松に福が降りて、高橋さんご家  
族にたくさんの幸せが訪れますように・・・



▲赤ちゃんの名前は櫛君。「櫛  
はボートを漕ぐために使う道具で、  
自らの力で前に進んでほしい、  
みんなを引っ張って、元気に力  
強く生きてほしい」そんな想い  
がこめられているそうです。

## それぞれの時代 思い出の時間を刻んでほしい・・・



▲遠藤前町長を囲んで喜寿を祝う(昭和17年度月館小学校卒業同級会)



▲胸の名札を押さえ「先生!私のことわかりますか?」  
久々の再会に、笑顔が絶えないひと時でした(昭和48年度月館中学校同級会)

## つきだて花工房のうちはあけなし

「月館町を知らなかった人たちからも、今では花工房があるところ、と言っていたほどになりました。オープンから今日までの皆さんのご努力に心から感謝しています。どうか伊達市になっても変わることなく、この地域の誇りとなる施設であるよう、力を合わせて励んでください。私も今後は一市民として応援させていただきます。また、お会いしましょう！」遠藤氏は最後にスタッフひとりひとりと握手を交わし、花工房を後にされた。

山清く、水麗しい月館。遠藤氏がよくそう言っておられたこの地を舞台に、訪れたお客様がホッとできるような、ぬくもりのある、ふるさととの宿を築いていければと思う今日この頃である。



予科練の同期、原さんより花束を受けとる遠藤前町長(左)

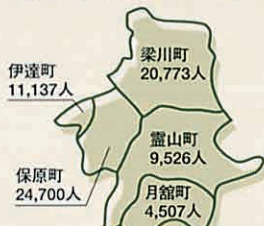
平成17年12月31日、月館町の歴史に終止符が打たれた。18年1月1日からは伊達市のスタートである。つきだて花工房も、平成8年8月8日にオープンしてから、駆け足のごとく月日が流れた。その間、どれほどのお客様に支えられ、励まされて来たことだろう。改めて感謝の気持ちを抱きながら除夜の鐘を聴く。

- ご宿泊…6500円～(1泊2食、お部屋割りの人数によって料金が変わります)
- 日帰り入浴…大人300円・小学生150円(毎月26日はおフロの日、スタンプ2倍)
- 個室休憩…11時～15時(お得な平日プラン…花なごみコース2800円・陽だまりコース1800円。休憩・入浴・お食事付、どちらも3名様より承ります)
- 平日のみのお得な大広間休憩…10時～15時(休憩と入浴で500円※貸切の場合は利用できないことがあります。あらかじめお問い合わせください)
- ランチ営業 11時30分～13時30分(ラストオーダー)

# 記念碑より

## 月館町に幕・刻むころ

平成18年1月1日  
5町の合併により  
伊達市が誕生しました



面積:265.11km  
伊達市総人口、70,643人でスタートです  
(伊達市調べ)



月館町役場閉庁記念碑除幕式(平成17年12月28日)  
(写真左から)収入役・伊東寂光氏、助役・伊藤良司氏、町長・遠藤五六氏、議長・高木征治氏、副議長・斎藤和人氏(役職は当時)

昭和三十年三月一日、月館町・小手村が合併して月館町が誕生し、爾来五十年の歴史を刻んだ。花と笑顔あふれ 夢ひろがる 緑のまち・月館

を誇りとして後世に引き継ぎ、平成十七年十二月三十一日伊達郡内の伊達町・梁川町・保原町・霊山町と合併するため閉庁する。

月館町長 遠藤五六

### 和の菓子づくり



### 菱葩餅

宮中正月行事に因む 雅の菓子です。薄く延ばした紅白の餅に 袱紗ふくし牛蒡ごぼうを置き、2つ折りにして 練りきりを くるみ込みます

#### 【花びら餅】

#### ◆材料(13個分)

##### A:お餅

白玉粉150g、砂糖150g、水220cc  
白こしあん30g、卵白1個分、食紅少々

##### B:味噌あん

白こしあん100g、白味噌15g、水15cc

##### C:ごぼう

ごぼう 長さ11cm、5mm角の甘煮13本  
(水100cc、砂糖50g)

#### ◆作り方

- ①お餅の材料、白玉粉、砂糖、水、白こしあんを耐熱容器に入れてよく混ぜてから10分寝かせて置く。
- ②①にラップをかけ、レンジで2分加熱、よく混ぜて再び5分レンジにかけ、熱いうちに堅く泡立てた卵白を混ぜる。
- ③片栗粉を敷いたバットに取りだし、上からも片栗粉を振っておく。
- ④③を100gだけ別にとって食紅少々を入れて同じように片栗粉をまぶしておく。
- ⑤味噌あんみそあんの材料を鍋に入れて火にかけて練り、冷めたら13個に丸めておく。
- ⑥切ったごぼうを鍋に入れ酢水で柔らかく茹でる。水100cc、砂糖50gの分量で蜜を作り、ごぼうを入れる。沸騰したら火を止めごぼうを浸し冷ます。
- ⑦お餅を13個に分けて丸くのばし、ピンクのお餅を丸めて真ん中におき、一緒に直径9cmくらいにのばす。
- ⑧片栗粉を刷毛などでよく払ってから味噌あんのごぼうをのせて半月型に折って出来上がりです。

## 連載 4回目 Kenちゃんが歩いた Furusato no komichi

おすすりポイント ① 八雲神社(下手渡字館)

下手渡公民館前の道を北へ向かってすぐ、左手の民家の木戸口に「村社八雲神社」の石柱が建ち、その先に石の鳥居が見えます。

本殿正面、奥の院に施された彫刻は手の込んだものではありませんが、迫力があり、すばらしいものです。拝殿に奉納された額には武運長久を祈るものが多く、武家とのつながりも感じられます。立花家の家紋でもある「祇園守」の紋が社殿正面に掲げられていて、下手渡藩との結びつきを表しています。



八雲神社の彫刻

### 八雲神社

### 犬飼熊野神社



犬飼熊野神社・猫神様

おすすりポイント ② 犬飼熊野神社(市川字熊田)

社殿の裏にまわると、数基の石塔に混じって3匹の猫をかたどった石像が鎮座しており、地元では猫神様と呼ばれています。詳細は不明ですがネズミを捕るところから、養蚕の守り神として祀られているのではないかと考えられています。

動物の姿をかたどった石像自体、町内では例がなくとも興味深いものです。3匹並んでいるのは三(さん)が蚕(さん)・かいこに通じるためでしょうか。すまして並ぶ猫の姿がどこなくユーモラスです。

拝啓  
えり子さん、詩織さん、お元気ですか。秋の夜長の小さな朗読会では、心に栄養と感動をいただきました。ありがとうございます。後で聞いた話によると、朗読会の前日が劇団オーデションの発表日だったそうですね。結果はお二人とも合格！本当によかったあ。ライバルであり、友であり、そんないい関係をこれからもずっとずっと続けてください。そして、月日が流れてもこの小さな町の小さな朗読会で演じてくれた日のことを、心の隅っこにしまっておいていただけたら、うれしいです。

お二人が暮らす都会では、田舎の数倍の速さで時が流れている感じがします。忙しい日々疲れたり、自分の気持ちにリセットをかけた時があったら、月館をふるさとだと思つて帰ってきてください。変わらぬ風景と元気な笑顔でお迎えしたいと思っています。それでは、お休みに気をつけてレッスンに励んでください。

敬具



拝啓  
お元気ですか！  
秋の夜長の小さな朗読会にご出演くださった  
浜田えり子さん(左)  
山本詩織さん(右)へ

- 花工房 ライブラリー ●星になったチロ(藤井旭)
- しばんこの和のころ(川浦良枝)
- 花工房BGM ●聖なる光(リベラ)
- THE CELLO ACOUSTICS(吉川よしひろ)

### 楽・百人一首 31番

朝ぼらけ 有明の月と 見るまでに吉野の里に 降れる白雪 坂上是則  
古くから雪と桜の名所として知られる奈良県の吉野。一晩で降り積もった雪を、有明の月光にたとえて詠われている。

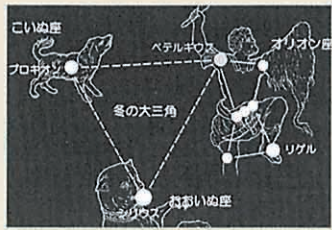
さかのうえのこののり

**まめ辞典**

**さらにめく星座**

2月4日は立春、暦の上では春の到来ですが、実はこの頃が1年中でも最も寒さが厳しくなります。澄み切った夜空ではきらめく星座が一段と輝きを増す季節です。現在、全天に描き出される星座の数は88。

今回は南の空の「冬の大三角」を探してみよう。夏のイメーシが強い天の川が、冬の第三角の中ほどをななめに淡く横切っているのも要チェックです。



冬の大三角

オリオン座のベテルギウス  
こいぬ座のプロキオン  
おおいぬ座のシリウス



(図:ポケット図鑑 四季の星座より)

**★オリオン座★★★★★★★Orion**

1等星2つ、2等星5つを含む冬の代表的な星座。雄大で星の配列も美しく冬の王者と呼ばれます。目じるしは狩人オリオンのベルトにあたる、ななめ一列の3つ星と、それを縦長の四角でかこむような4個の星。  
★ベテルギウス(巨人の脇の下)＝全天で10番目に明るい星。和名を「平家星」という。

**★おおいぬ座★★★★★Canis Major**

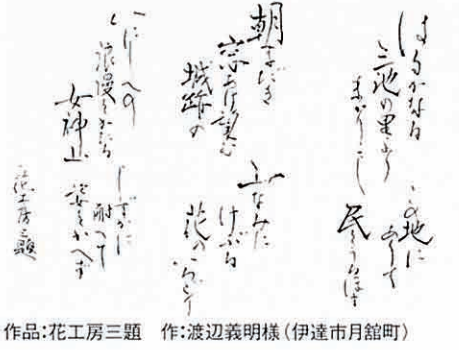
全天一明るい星シリウスを持つこの星座はとても明るく、比較的楽に探せる星座  
★シリウス(焼き焦がすもの)。＝おおいぬ座の口元でひときわ大きく青白く光っている星。北風が強い日は天のプリズムのように色を変えて見えるので「絵の具星」の呼び名がある。

**★こいぬ座★★★★★Canis Minor**

冬の天の川のほとりにある星座で1等星と3等星の2つだけでできた小さな星。  
★プロキオン(犬の先駆け)＝地球からの距離は11光年で明るい星の中ではシリウスに次いで地球に近い星。和名を「色白」という。

**和のリズムを楽しむ**

五・七・五で詠まれる俳句と川柳  
五・七・五・七・七で詠まれる短歌  
古くから日本人の心に流れる独特の音律を楽しみましょう



作品:花工房三題 作:渡辺義明様(伊達市月館町)

**花工房周り一面花心**

佐藤ヒロ子様(伊達市月館町)



心安らく若松倫夫さんの作品をお楽しみください。(絵はがきは、つきだて花工房でも販売中です。1枚200円、6枚セット1,000円、花工房の風景セット1,000円)

**お便りコーナー**

懐かしい「木もれ日通信」ありがとうございます。正に吾が故郷の母からの便りを読む感じがします。私は月館町の御代田で生まれ育ったものです。現在、生家は残っていますが、誰も住んでいません。私も旧特攻の生き残りです。復員後上京、帰郷した際は花工房にお世話になりますからよろしく。

名月を つきの館で拝みたい  
森 要様(東京都)

お送りいただく「木もれ日通信」を花工房の移ろう四季の風景を思い起こしながら月号間々まで読ませていただいております。22号の表紙「花のアルバム」は日頃余り留意せずいた上手の植物「葛の花」を見なおす機会を与えていただきました。

今年も盆の墓参り時に入浴のみを利用していただきました。来年はできれば月夜日に宿泊で利用させていただきたいと思っております。  
(H17・12・25記)岡田 一郎様(東京都)

**木もれび 23号プレゼント**

3名様にプレゼント!

官製はがきに住所、氏名、年齢と木もれ日通信23号で印象に残った記事を明記し、プレゼント応募券を貼つて花工房までお送りください。平成18年4月30日の消印まで有効です。  
◎記入いただいた個人情報つきだて花工房が責任をもつて管理・保管し、当館のご案内をお送りするほかサード向上のために利用させていただきます。  
◆22号プレゼントの当選者は、  
西田貴子様(埼玉県)、岡田一郎様(東京都)、西田艶子様(月館町)の3名の皆さまです。  
おめでとうございます。

**花工房からのお知らせ**



送迎運行をいたします。  
●5名様以上で  
●宿泊のお客様  
●15名様以上で  
●宴会等のお客様  
●15名様以上でもり  
●体験プログラム利用のお客様  
※送迎の料金はいただきません。  
※地域によっては送迎ができない場合もございます。  
※ご予約の際にご相談下さい。

**和**

**編集後記**

愛犬の写真やイラスト入りの年賀状をたくさんいただきました。ぬいぐるみ?と凝視するほどの仔犬もあり、仲睦まじく暮らしている姿が目につきます。  
「しばわんこの和のころ」というユニモラスな絵本に出会いました。柴犬の「しばわんこ」とお茶目な三毛猫「みけにゃんこ」が、古くから日本に伝わる和の作法や、伝統行事、移ろう季節の暮らし方をほのぼのと伝えてくれます。

私たち日本人は繊細で情緒豊かな民族です。もうそろそろ、日本人が日本人であることの自覚を持ち、その喜びを知る時代が来ているのではないのでしょうか。そんなわけで今年は「しばわんこ」の下で和を学び、和の心を実践してみたいと思っています。(佳代)



月の明かりで疲れた心を癒したい。いますぐカレンダーにチェック!!

**【満月の夜】**

2月13日(月)・3月15日(水)  
4月14日(金)

**【新月の夜】**

2月28日(火)・3月29日(水)  
4月28日(金)

木もれ日通信23号 読者プレゼント 応募券